

大学コンソーシアムやまがた幹事会（平成25年度第3回）議事録

日 時 平成26年3月4日（火）15:00～16:45

場 所 ゆうキャンパス・ステーション

出席者 委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 花岡 孝（東北芸術工科大学）

瀬野 栄司（保健医療大学）

井上 元治（米沢女子短期大学）

委 員 矢口 清（事業評価委員会委員長／山形大学）

栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

斉藤 葉子（羽陽学園短期大学）

増山 知也（鶴岡工業高等専門学校）

保角 里志（放送大学山形学習センター）

藤原 茂樹（産業技術短期大学校）

井上 恭一（農業大学校）

川崎 正則（山形県）

菅原 邦生（山形工科短期大学校）

欠席者 副委員長 大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 平松 緑（東北公益文科大学）

議事に先立ち、事務局から、新委員の紹介があった。また、報告事項1に関連して山形人材育成委員会企画運営部会長横井博教授が説明者として出席している旨紹介された。

引き続き、事務局から本日の議事録署名人を山形県川崎委員と山形工科短期大学校菅原委員にお願いしたい旨提案があり、了承された。

[報告事項]

1 山形人材育成委員会の平成25年度活動報告について（平成26年2月末現在）

横井部会長から、資料1に基づき報告があった。

（主な意見交換内容）

- ・特になし

2 平成26年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書について

事務局から、資料2に基づき報告があった。

（主な意見交換内容）

大学コンソーシアムやまがたへの委託費について

- ・資料2 P. 6に「うち共通分」として3,785千円の計上があるが、この金額が大学コンソーシアムやまがたへの委託部分と考えてよろしいのか。
→この金額については、代表校に計上している金額のうち、連携校を含めて利用される経費分を計上しており、大学コンソーシアムやまがたへの委託費2,340千円のほかに、外注費600千円等を含んだものである。
- ・平成25年度経費執行においては返還金が見込まれているが、平成26年度はいかがか。
→平成24年度には6,600万円の上限額であったが、平成26年度には5,200万円まで減額されている中で予算を組んでいるため、同様の返還は生じないと考えている。

〔協議事項〕

1 山形県立米沢栄養大学の加入について

事務局から、資料3に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。

（主な意見交換内容）

単位互換について

- ・山形県立米沢栄養大学は平成26年4月に開学するため、当面は、開講できる単位互換科目がないため、他大学の学生の受入れはできないが、山形県立米沢栄養大学の学生は、他大学の単位互換科目を受講できるようにしていただきたい。
 - ・山形県立米沢栄養大学が、開講する単位互換科目は、その科目の熟度や単位互換科目としての適性を見極めながら、完成年度を目途に行うカリキュラムの見直しの中で、教養科目の中から開講科目の選定を検討していきたい。
- ### 2 平成25年度事業報告（案）及び収支補正予算並びに収支決算見込額（案）について
- 事務局から、資料4～資料5に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。

(主な意見交換内容)

事業報告(案)について

- ・資料4 P. 2で報告された(2)その他、各種講習会・イベントの開催・実施については、開催年に誤りがあるので修正いただきたい。
→修正します。
- ・ホームページのアクセス数は一日どのくらいあるのか。
→平均すると20~30件、イベント前は50件程度のアクセスがあり、刷新する効果はある。
- ・単位互換利用状況では98人の学生が受講しているが、前期・後期を通じたりリピート率・連動性はどうか。
→受講生数は概数であり、前期・後期において継続している授業も限られているため、あまりリピート率・連動性は感じられない。

高等教育機関連携情報発信事業及びプロスポーツ大学間連携人材育成等推進事業について

- ・多くのイベント等を実施しているが、学生参加型イベントを開催する場合には、早いタイミングでの周知を徹底いただきたかった。
→今後、気を付けて周知を図っていききたい。
- ・高等教育機関連携情報発信事業の中で行われた「学生提案型情報発信事業」は、その募集時期が遅れたため、なかなか学生が手を挙げられなかったのではないのか。また、学生が主体とのことだが、指導する教員がいる企画も募集できるのか。
→募集時期が遅れてしまった点は、反省している。本事業は、単年度事業のため次年度の募集はないが、「高等教育山形宣言プロジェクト」は継続して公募しており、内容のしっかりした企画を申請いただくためにも、教員のバックアップはお願いしたいと考えている。

収支補正予算並びに収支決算見込額(案)について

- ・ゆうキャンパス・ステーション運営費事業推進費に関して、規模縮小によるレイアウト変更を行うことになるが、レイアウト(案)では新たに設置する壁のため中の様子が見えなくなるのではないのか。
→自動ドアからは、引き続き中が見える状態としており、壁面を活用した広報が可能になると考えている。普段、通行している方々は目的がなければ、ほとんど中を見るようなことはないのが現状である。

3 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

事務局から、資料6～資料11に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。

なお、ゆうキャンパス・ステーションの開館曜日については、事務局職員数減に対応するため、土日は閉館することとなった。

(主な意見交換内容)

事業計画(案)について

- ・資料6 P. 2で計画されている(3) ゆうステの充実については、レイアウトの変更後も可能なのか。
→現在、「高等教育山形宣言プロジェクト」を活用して、山形大学有志20名程度が「学び場プラス in ゆうキャンパス」を行っており、市内高校生との勉強会を行っている。平成26年度においても、週2回程度の開催を予定しており、徐々に学生が集まってくれればと考えている。

[その他]

1 TV会議システムの使用状況について

事務局から、参考資料1に基づき提案があり、諮られた結果、TV会議システムについては、平成26年度から使用を控えることで了承された。なお、現在、広く使用されているSkype等を使用することにより遠方の加盟校の負担軽減を検討することとなった。

(主な意見交換内容)

- ・購入後、数年が経過しているが残存価格はいくらになるのか。
→補助金で購入した備品であり、平成28年3月まで管理する必要がある。
- ・現在は、同様のシステムを使用することなく簡易にTV会議ができるようになっているが、そのようなものを使用していかがか。
→Skype等を使用して、会議等を開催可能か検討したい。
- ・撤収費についてはどうするのか。
→撤収は、山形大学で行うことになると考えているが、撤収せずにディスプレイのみを有効活用いただく等検討していきたい。なお、セキュリティ対策を講じない状態でネットに接続することは、当然、難しい。

2 平成25年度研究成果発表会「考えよう！健康と福祉」について

事務局から、今後、開催される平成25年度研究成果発表会「考えよう！健康と福祉」

について報告があった。

以上

【配 付 資 料】

資料 No. なし

幹事会委員名簿

大学コンソーシアムやまがた会則

平成25年度大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録

(平成25年8月28日)

資料1 平成25年度山形人材育成委員会事業報告書(平成25年2月24日現在)

資料2 平成26年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)調書

資料3 大学コンソーシアムやまがたおよび同単位互換協定への加入について(依頼)

資料4 平成25年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案)

資料5 平成25年度大学コンソーシアムやまがた収支補正予算並びに収支決算見込額(H26.2.20現在)(案)

資料6 平成26年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)

資料7 平成26年度機関負担金(会費)(案)

資料8 平成26年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(案)

資料9 平成26年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(負担金)(案)

資料10 平成26年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書(案)

資料11 平成26年度山形人材育成委員会収支予算書(案)

参考資料1 TV会議システムの使用状況について

参考資料2 平成25年度研究成果発表会「考えよう!健康と福祉」

机上配布 【大学案内】山形県立米沢栄養大学(仮称)

議事録署名人

山形大学理事・副学長

安田弘法 

山形県学事文書課長

川崎正則 

山形工科短期大学校講師

菅原邦生 